

五等五級 陸軍歩兵中 島田 定持

大等七級 陸軍歩兵中 大和田三樹太郎

兼補 高等法院判官土屋 信民

書記 竹内 靜衛 (月四三) 大崎 文雄

兼補 渡邊 良一 (月二五) 河原 正治

通譯生 大谷和三郎 岸田 愛文

四 野村吉三郎 小串季太郎

一 關東都督府醫院八關東都督ノ管理ニ屬シ疾

病ノ診療ニ關スル事ヲ掌ル

一 醫院ニ左ノ職員ヲ置ク

院長 專任三人 奏任 又ハ判任

一 院長ハ醫長ヲ以テ之ニ充ツ關東都督ノ命ヲ

承ケ院務ヲ掌理ス

一 醫長及職員ハ院長ノ命ヲ承ケ診療ニ關スル

事ヲ掌ル

一 藥局長ハ院長ノ命ヲ承ケ調劑ニ關スル事ヲ

掌ル

一 調劑手及書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ調劑又ハ

庶務ニ從事ス

醫長 陸軍一等軍醫正 本堂恆次郎

陸軍二等軍醫 德 熙 敬

陸軍三等軍醫 岡 六 藏

陸軍二等軍醫 小 野 六 藏

陸軍一等軍醫 宮崎 弘 隣

陸軍二等軍醫 代田 英 夫

陸軍一等軍醫 龜倉 靈 鏡

藥局長 大等三級 高杉要二郎

書記 上田 貞夫 (月四三) 野村吉三郎

調劑手 從七林 綾七郎

關東都督府海務局官制 大連大棧橋

一 關東都督府海務局ハ關東都督ノ管理ニ屬シ

港務海務検査、船舶ノ測度検査其ノ他海事

ニ關スル事務ヲ掌ル

一 關東都督府海務局ニ左ノ職員ヲ置ク

局長 專任三人 判任

一 局長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ關東都督ノ命ヲ

承ケ局務ヲ掌理ス

一 局長ハ其ノ所管事務ニ關シテハ警察官吏ヲ

指揮スルコトヲ得

一 技師ハ局長ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

一 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

一 關東都督ハ臨時必要アリト認ムルトキハ檢

疫員及検査員ハ判任官ノ待遇トス

一 關東都督ハ必要ニ應シ海務局支局ヲ置クコ

トヲ得

技師 大等十級 正七、勳五 檜崎猪太郎

局長 大連土佐町六番地

○港務課 技師 七等五級 櫻井 一 輔

課長 從七、勳六 大連見玉町五番地五號

技手 未廣 五 勳七占部 威彦

新居 孝吉 (月三) 勳七木原 豪

○檢疫課 技師 大等五級 野 靜哉

課長 正七、勳六 大連見玉町五番地五號

技手 野村吉三郎 (月四三) 小串季太郎

○海事課 技手 三 鎌田豐之助

課長心得 勳七、勳六 大連見玉町五番地五號

○庶務課 課長心得 勳七、勳六 大連見玉町五番地五號

○觀測所 關東都督府觀測所官制 大連寺兒溝

一 關東都督府觀測所ハ關東都督ノ管理ニ屬シ

氣象觀測ノ事務ヲ掌ル

一 觀測所ニ左ノ職員ヲ置ク

技師 專任一人 櫻井 一 輔

技手 專任八人

一 所長ハ技師ヲ以テ之ニ充ツ關東都督ノ命ヲ

承ケ所務ヲ掌理ス

一 技師ハ上官ノ命ヲ承ケ技術ヲ掌ル

一 技師ハ上官ノ指揮ヲ承ケ技術ニ從事ス

一 關東都督ハ必要ニ應シ觀測所支所ヲ置ク

コトヲ得

技師 七等七級 水内 清治

所長 有森 勉 (月四三) 中地 小 平

技手 古川 修藏 牛家也

○營口支所 支所長 金子鐵之助

○奉天支所 支所長 中村貞次郎

○旅順支所 支所長 奉天警務署構内

○長春支所 支所長 多奈部亮佐

支所長 旅順舊市街黃 金堂十九號地

○監獄署 關東都督府監獄署官制 旅順舊市街大島町

一 關東都督府監獄署ハ關東都督ノ管理ニ屬シ

一 監獄署ニ左ノ職員ヲ置ク

典獄 專任六人 判任

一 典獄ハ關東都督ノ命ヲ承ケ監獄事務ヲ掌理

ス

一 監吏ハ上官ノ指揮ヲ承ケ監獄ノ戒護及庶務

ニ從事シ部下ノ看守ヲ指揮監督ス

一 翻譯生ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯通譯ニ從事

ス

監吏 野野熊次郎 五 中村三千藏

大澤 貞藏 (月四三) 町田德次郎

翻譯生 大森 貞信 (月三) 加藤清太郎

翻譯生 (月四三) 松島常太郎

○通信官署 關東都督府通信官署官制 大連大棧橋

一 關東都督府通信官署ハ關東都督ノ管理ニ屬

シ郵便、郵便爲替、郵便貯金及電信電話ニ關















(兼)  
技師吉田 弟彦  
技師草刈 雄治  
石丸 小一  
旅順新市街特設地三三番地一官舎

助教授  
土浦 市松 六  
尾花 經造  
吉岡 實 (月四三) 録田 政人  
立花政一郎 六  
佐瀨市太郎  
内田悦太郎 十  
佐藤織之助  
(月四三)

韓國政府應聘者

一 勳八高田 長豊 三 勳八大和田眞治  
青木作太郎 六 椎谷 純三  
南滿洲鐵道株式會社應聘者  
民政長官 從四、勳三中村 是公  
一等年功勳

技師

陸軍工兵中尉 中屋 重樹  
從六、勳六、功五  
從七、鄉家正三郎  
從六、勳六、上田 恭輔  
屬 草間由太郎  
勳七、渡部喜卯馬 六  
勳八、猪股 忠次  
通信書記五

會計検査院

明治二十二年五月(抄)

第一章 組織  
第一條 會計検査院ハ天皇ニ直隸シ國務大臣ニ對シ特立ノ地位ヲ有ス  
第二條 會計検査院ハ院長一員部長三員検査官十二員ヲ置キ之ヲ會計検査官トシ別ニ書記官專任一員副検査官專任十四員及書記技手ヲ置ク  
第三條 院長及部長ハ勅任、検査官ハ勅任又ハ委任、書記官及副検査官ハ委任、書記及技手ハ聘任トス  
勅任検査官書記及技手ノ定員ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム  
第四條 院長ハ院務ヲ總理シ部長ハ部務ヲ掌理ス  
第五條 院長事故アルトキハ上席ノ部長ヲシテ代理セシムルコトヲ得  
第六條 會計検査院ニ三部ヲ設ケ各部部长一員検査官四員ヲ以テ検査ノ事務ヲ分掌ス  
第七條 會計検査官ハ勅令ニ定メタル資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス  
會計検査官ハ刑事裁判若ハ懲戒裁判ニ依ルニテラサレハ其ノ意ニ反シテ退官轉官又ハ休職ヲ命ゼラル、コトナシ  
會計検査官ニ關ル懲戒ノ條規ハ別ニ定ムル所ニ依ル  
第八條 父子兄弟ハ同時ニ會計検査官トナルコトヲ得ス  
第九條 會計検査官ハ他ノ官職ヲ兼テ及帝國議會又ハ地方議會ノ議員トナルコトヲ得ス

第九條 會計検査院ノ議事ハ總會議又ハ部會議ヲ以テ決ス總會議ハ院長ヲ以テ議長トシ部會議ハ部長ヲ以テ議長トス  
第十條 議長ハ多數ヲ以テ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル  
第十一條 左ノ場合ニ於テハ總會議ヲ以テ議決ス  
一、第十五條ニ依リ上奏ヲ爲シ又ハ天皇ノ下問ニ奉答スルトキ  
二、第十四條ニ依リ報告書ヲ確定スルトキ  
三、第十七條ニ依リ意見ヲ陳述スルトキ  
四、検査事務ノ規程計算證明ノ格式及提出ノ期限ヲ定メ又ハ之ヲ改正スルトキ  
五、其ノ他院長ニ於テ總會議ニ付スルノ必要アリト認メタルトキ  
第十二條 會計検査院ハ凡テ會議ニ於テスル其ノ總會議ニ於テスルトキ部長會議ニ於テスルトキハ會計検査官ノ定ムル所ニ依ル  
第十三條 會計検査院ノ検査ヲ要スルモノ左ノ如シ  
一、總決算  
二、各官廳及官立諸營造ノ收支及官有物ニ關ル決算  
三、政府ヨリ補助金又ハ特約保證ヲ與フル團體及公立私立諸營造ノ收支ニ關ル決算  
四、法律勅令ニ依リ特ニ會計検査院ノ検査ヲ要スルモノ  
第十四條 會計検査院ハ憲法第七十二條ニ依リ決算ヲ検査確定スルト同時ニ左ノ諸項ニ付報告書ヲ作ルヘシ

一、總決算及各省決算報告書ノ金額ト各出納官吏ノ提出シタル計算書ノ金額ト符合スルヤ否ヤ  
二、歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用官有物ノ得有沽賣讓與及利用ハ各、其ノ豫算ノ規程又ハ法律勅令ニ違フコトナキヤ否ヤ  
三、豫算超過又ハ豫算外ノ支出ニシテ議會ノ承諾ヲ受ケサルモノナキヤ否ヤ  
第十五條 會計検査院ハ各年度ノ會計検査ノ成績ヲ上奏シ其ノ成績ニ就テ法律又ハ行政上ノ改正ヲ必要トスヘキ事項アリト認ムルトキハ併セテ意見ヲ上奏スルコトヲ得  
第十六條 會計検査院ハ各官廳中一部ニ屬スル計算ノ検査及責任解除ヲ其ノ廳ニ委託スルコトヲ得但シ其ノ検査ノ成績ハ該廳ヲシテ之ヲ會計検査院ニ報告セシムヘシ  
第十七條 會計検査院ハ時宜ニ依リ其ノ所管ノ官廳ヲシテ計算書ヲ送付セシメ之ヲ検査フコトアルヘシ  
第十八條 第三項團體及公立私立諸營造ノ決算ニ就テモ亦本條ヲ適用スルコトヲ得  
第十九條 金庫ノ出納及簿記上ニ關ル各省ノ命令ニ付會計検査院ハ其ノ發布ノ前通知ヲ受ケ意見アルトキハ之ヲ陳述スルコトヲ得  
會計検査院ハ收入及支出ニ關ル規則ヲ定メ及既定ノ規則ヲ改正スル各省ノ命令ニ付其ノ發布ノ前通知ヲ受ク  
第二十條 會計検査院ハ計算書及計算證明ノ様式並ニ其ノ提出及推問ニ對スル答辯ノ期限ヲ定ム  
第二十一條 會計検査院ハ各官廳ヲシテ検査上必要ナル簿書及報告ヲ提出セシメ及主任官吏ノ辯明書ヲ求ムルコトヲ得



會計検査院

會計検査院長ハ検査上必要ト認ムルトキハ  
主任官吏ヲ派遣シ實地検査ヲ爲スコトヲ得  
此ノ場合ニ於テハ豫メ本部長官ニ通知シ該  
長官ハ主任官吏ヲシテ検査ニ立會フ爲サシ  
ムルコトヲ得

第二條 會計検査院ニ院長官房ヲ置ク  
第三條 會計検査院ノ會議ハ會計検査官ヲ以  
テ組織ス  
第四條 總會議ハ院長之ヲ開キ部會議ハ部長之ヲ開  
キ  
第五條 總會議ハ會計検査官現員ノ三分ノ二  
以上出席スルニ非サレバ議決ヲ爲スコト  
ヲ得ス

一、各部ノ分課ヲ定ムルコト  
二、各部課主管ノ事務及職員ノ配置ヲ定ム  
ルコト  
三、各部ヨリ提出スル文書ニシテ總會議又  
ハ部會議ノ議決ヲ要セサルモノヲ處分  
スルコト  
四、副検査官ニ總會議出席ヲ命スルコト  
五、所部ノ職員ニ出張ヲ命スルコト  
六、議事ニ關シ細則ヲ定ムルコト  
七、部會議ノ議決スヘキ事項ヲ定ムルコト  
八、行務監督規程及其ノ他ノ行政事務ニ關  
スル諸規程ヲ定ムルコト  
九、副検査官ハ各部ヨリ提出スル文書ニ付  
主任部長及検査官ノ同意ヲ得テ其ノ主意ヲ  
變更スルコトヲ得若シ其ノ同意ヲ得サルトキ  
ハ之ヲ總會議ニ付スヘシ  
第十條 總會議ハ部會議ノ議決ヲ經タル文書ト雖  
モ其ノ主意ヲ變更セサル限リ院長ハ文章ノ訂  
正ヲ爲スコトヲ得

會計検査院

第四條 政府ノ機密費ニ關ル計算ハ會計  
検査院ニ於テ検査ヲ行フ限リ在ラス  
第五條 會計検査院ハ認可狀ヲ付スルノ  
後ト雖モ其ノ付シタル日ヨリ五箇年以内ニ於  
テハ出納官吏ヨリ之ヲ請求スルカ又ハ計算  
書ノ誤謬脱漏ニ重記載アルコトヲ發見シテ  
ルトキハ再審査ヲ爲スコトヲ得但シ詐偽シテ  
憑ラ發見シタルトキハ五箇年後ト雖モ再審  
爲スコトヲ得  
第六條 會計検査院再審査ノ判決ニ對シテ  
再審査判ヲ請求スルコトヲ得ス

第二十四條 書記官ハ院長官房ニ屬シ庶務ヲ  
掌ル  
第二十五條 書記官ハ上司ノ指揮ヲ承ケ検査ノ  
事務又ハ庶務ニ從事ス  
第二十六條 會計検査院ハ行務年度ヲ定メ檢  
査ノ事務ヲ執行ス  
第二十七條 會計検査院ハ検査ノ事項ニ付當  
該官吏ニ對シテハ審理書ヲ發シ國務大臣ニ  
對シテハ質問書又ハ注意書ヲ發スルコトヲ  
得

會計検査院ハ職權ヲ以テ再審査行フ場合ニ  
於テハ本部長官ヲ經由シテ其ノ旨ヲ當該出  
納官吏ニ通知スヘシ  
第三十三條 會計検査院ハ左ノ場合ニ於テ本  
部長官ヲシテ直ニ報告ヲ爲サシムルコトヲ  
得  
一、出納官吏其ノ保管スル現金ヲ亡失シタ  
ルトキ  
二、各省大臣出納官吏ニ對シ辨償ヲ命シタ  
ルトキ  
三、出納官吏ニ對スル公訴ニ附帶シテ國ノ  
代表者私訴ヲ提起シタルトキ  
第三十四條 會計検査院ハ各地方官廳ヲシテ  
其ノ地ノ物價ヲ定期又ハ臨時ニ報告セシム  
ルコトヲ得

會計検査院長待遇 明治二十九年五月  
一、會計検査院長ハ親任官ノ待遇ヲ賜フ  
會計検査官資格 明治二十二年大  
會計検査院法第六條ニ依リ會計検査官ハ左ノ  
資格ヲ具フル者ヲ以テ之ニ任ス  
一、年齢三十歳以上ノ者  
二、五箇年以上高等行政官若クハ判事檢事  
副検査官ノ職ニ在ル者及在リタル者但  
試補勤務年數ハ之ヲ算ス



會計検査院

九五四

第三條 會計検査官會議ハ會計検査院長ヲ以テ議長トシ院長ニ對スル退官ノ申立アルトキハ會計検査院部長中上席者ヲ以テ議長トシ議長事故アルトキハ會計検査院部長中上席者之ヲ代理ス

○會計検査院勅任検査官、書記及技手定員 勅令第四百三十三號 明治四十三年三月 一會計検査院勅任検査官、書記及技手ノ定員左ノ通定ム

院長 一等 正三、勳一、法學博士 田尻稻次郎 小、金、四、六

○院長官房

書記 文官普通懲戒委員 文官普通試驗委員 文官普通報告及統計主任 正七、勳七、尾崎嘉太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎

書記 一 正七、勳七、宮田直次郎 二 正七、勳七、佐藤謙三郎 三 正七、勳七、淺井政明 四 正七、勳七、大和鏡太郎 五 正七、勳七、八竹内勝太郎 六 正七、勳七、河村信造 七 正七、勳七、飯尾利幸 八 正七、勳七、岡田敬作 九 正七、勳七、山重三郎 十 正七、勳七、須藤清七 十一 正七、勳七、石波潔 十二 正七、勳七、大富丹治

○第一部

部長 一等 文官普通懲戒委員 正三、勳一 弘一 小、大、塚、五

副検査官 井上綾太郎 正七、勳六、小川藏次郎 正七、勳六、小川藏次郎

○第一課

課長 尾崎嘉太郎 書記 一 正七、勳七、細谷四郎 二 正七、勳七、高澤勝次郎 三 正七、勳七、大塚立男 四 正七、勳七、加藤岩藏 五 正七、勳七、高田高明 六 正七、勳七、沼田喜雨太郎 七 正七、勳七、西村源之助 八 正七、勳七、木村精一 九 正七、勳七、繩手浦之進 十 正七、勳七、河野豐太郎 十一 正七、勳七、宮城仁勇 十二 正七、勳七、田村眞吾 十三 正七、勳七、原晃

書記 一 正七、勳七、武井俊秀 二 正七、勳七、柴田壽雄 三 正七、勳七、鍋倉林七 四 正七、勳七、後藤一惠 五 正七、勳七、大平野權藏 六 正七、勳七、藤重義 七 正七、勳七、東原善太郎 八 正七、勳七、佐久間格次郎 九 正七、勳七、水野靜惠 十 正七、勳七、關口鐵之助 十一 正七、勳七、細川祐平 十二 正七、勳七、關口鐵之助 十三 正七、勳七、細川祐平 十四 正七、勳七、關口鐵之助 十五 正七、勳七、細川祐平

○第二課

課長 大平野 書記 一 正七、勳七、川勝隆儀 二 正七、勳七、熊澤清次郎 三 正七、勳七、花城永波 四 正七、勳七、小川眞陽 五 正七、勳七、城野政七郎 六 正七、勳七、高野健介 七 正七、勳七、高野健介 八 正七、勳七、高野健介 九 正七、勳七、高野健介 十 正七、勳七、高野健介 十一 正七、勳七、高野健介 十二 正七、勳七、高野健介 十三 正七、勳七、高野健介 十四 正七、勳七、高野健介 十五 正七、勳七、高野健介

副検査官 大島誠治 正七、勳六、伊藤乙亮 正七、勳六、伊藤乙亮

○第二課

課長 大島誠治 書記 一 正七、勳七、安藤四郎 二 正七、勳七、原常太郎 三 正七、勳七、原常太郎 四 正七、勳七、原常太郎 五 正七、勳七、原常太郎 六 正七、勳七、原常太郎 七 正七、勳七、原常太郎 八 正七、勳七、原常太郎 九 正七、勳七、原常太郎 十 正七、勳七、原常太郎 十一 正七、勳七、原常太郎 十二 正七、勳七、原常太郎 十三 正七、勳七、原常太郎 十四 正七、勳七、原常太郎 十五 正七、勳七、原常太郎

○第二部

部長 一等 文官普通懲戒委員 正三、勳一 敬藏 小栗盛太郎 正七、勳六、小栗盛太郎

副検査官 大等四級 尾崎嘉太郎 正七、勳八、堀越市太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎

○第一課

課長 尾崎嘉太郎 書記 一 正七、勳八、田村乙吉 二 正七、勳八、田村乙吉 三 正七、勳八、田村乙吉 四 正七、勳八、田村乙吉 五 正七、勳八、田村乙吉 六 正七、勳八、田村乙吉 七 正七、勳八、田村乙吉 八 正七、勳八、田村乙吉 九 正七、勳八、田村乙吉 十 正七、勳八、田村乙吉 十一 正七、勳八、田村乙吉 十二 正七、勳八、田村乙吉 十三 正七、勳八、田村乙吉 十四 正七、勳八、田村乙吉 十五 正七、勳八、田村乙吉

副検査官 大等四級 尾崎嘉太郎 正七、勳八、堀越市太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎

○第二課

課長 尾崎嘉太郎 書記 一 正七、勳八、田村乙吉 二 正七、勳八、田村乙吉 三 正七、勳八、田村乙吉 四 正七、勳八、田村乙吉 五 正七、勳八、田村乙吉 六 正七、勳八、田村乙吉 七 正七、勳八、田村乙吉 八 正七、勳八、田村乙吉 九 正七、勳八、田村乙吉 十 正七、勳八、田村乙吉 十一 正七、勳八、田村乙吉 十二 正七、勳八、田村乙吉 十三 正七、勳八、田村乙吉 十四 正七、勳八、田村乙吉 十五 正七、勳八、田村乙吉

副検査官 大等四級 尾崎嘉太郎 正七、勳八、堀越市太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎 正七、勳七、尾崎嘉太郎

會計検査院

九五五



○第一課(逓信省所管、恩賞諸課)

検査官 三等級

課長

副検査官 大等四級

書記

田邊鈴太郎 四 勳八平賀 種樹

常川元次郎 (兼) 五 秋山 豊作

正八渡邊 清人 五 大迫 榮二

間 端吾 (月四三) 五 宮下幾太郎

榎谷 益藏 (月三七) 七 側島健治郎

西山 友雄 十 黒井 龍磨

○第二課(鐵道院)

検査官 三等級

課長

副検査官

書記

好忠 三 勳八小林 兵治

瀧 清和 五 正八、勳八安田 市太郎

吉留 直哉 六 星野 輝廉

成松 敬介 六 馬場 信廣

三宅 蓋 八 村上 三郎

小俣 房吉 九 大石 茂司

鹽田 稜威 十 大石 茂司

○第三課(司法省所管、文部省所管)

検査官 三等級

課長

副検査官 五等級

書記

文官普通懲戒委 中山寛六郎

委員正司 勳四 藤 三

正七、勳八鴨澤 恒順 二 從七、勳八押見 斧次郎

勳八山本 久太郎 四 宮部 金三郎

正八、勳八福西 捨彌 五 勳八河村 成吉

大 牧野 鎖三 六 足立 芳五郎

橋谷 田又四郎 (月三二) 十 須澤 巖

水谷 禎次郎 (月三二)

○第四課(統監府、臺灣總督府)

検査官 四等級

課長

副検査官 七等級

書記

元祐 五 勳七太田 辰馬

平山 幸 (月三七) 柳 薫

浦上 齋 (月三二) 關口 健

山口 重明 九 勳七、勳八 成美

岸田 重 (月二九) 六、勳五 山岡 徹次

清宮 善太郎 十 齋藤 善作

松尾 泰堂 (月二七)

外國政府應聘者

清國 検査官補 五等級 從大 杉 榮三郎

韓國 屬二勳八服部 豊吉

屬四淺井 金吾

屬五山田 爲一

書記 七大塚 庄吉

屬三勳八筋瀨 徳松

屬五馬場 部

屬五成瀬 仁喜太

書記 九淺谷 剛

○行政裁判所 麹町區 紀尾井町

行政裁判法 明治二十三年六月(抄)

行政裁判所組織

一 行政裁判所ハ之ヲ東京ニ置ク

一 行政裁判所ニ長官一人及評定官ヲ置ク評定

官ノ員數ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一 行政裁判所ニ書記ヲ置ク其員數及職務ハ勅

令ヲ以テ之ヲ定ム

一 長官ハ勅任トス評定官ハ勅任又ハ委任ト

ス

一 長官及評定官ハ三十歳以上ニシテ五年以上

高等行政官ノ職ヲ奉シタル者若クハ裁判官

ノ職ヲ奉シタル者ヨリ内閣總理大臣ノ上奏

ニ依リ任命セラル、モノトス

一 書記ハ長官之ヲ聘任ス

一 長官及評定官ハ在職中左ノ諸件ヲ爲スコト

ヲ得ス

一 公然政事ニ關係スルコト

二 政黨ノ黨員又ハ政社ノ社員トナリ又ハ

衆議院議員府縣郡市町村會ノ議員若ク

ハ參事會員タルコト

三 兼官ノ場合ヲ除ク外俸給アル又ハ金錢

ノ利益ヲ目的トスル公務ニ就クコト

四 商業ヲ營ミ其他行政上ノ命令ヲ以テ禁

シタル業務ヲ營ムコト

一 第六條ノ場合ヲ除ク外長官及評定官ハ刑法

ノ宣告又ハ懲戒ノ處分ニ由ルニ非サレハ其

意ニ反シテ退官轉官又ハ「非職」ヲ命セラル

ルコトナシ

行政裁判所

行政裁判所ノ長官又ハ評定官ヲ兼任スル者

ハ其本官在職中前項ヲ適用ス

懲戒處分ノ法ハ別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

一 長官及評定官身體若クハ精神ノ衰弱ニ因リ

職務ヲ執ルコト能ハサルトキハ内閣總理大

臣ハ行政裁判所ノ總會ノ決議ニ依リ其退職

ヲ上奏スルコトヲ得(第六條)

一 長官ハ行政裁判所ノ事務ヲ總理ス

者之ヲ代理ス官等同シキハ任官ノ順序

ニ依リ其先ナル者之ヲ代理ス(第七條第二項)

一 長官ハ自ら裁判長トナリ若クハ評定官ニ裁

判長ヲ命スルコトヲ得

一 部ヲ分ツノ必要アルトキハ其組織及事務分

配ハ勅令ヲ定ムル所ニ依ル(第八條第二項)

一 行政裁判所ノ裁判ハ裁判長及評定官ヲ併セ

五人以上ノ列席會議ヲ要ス但列席ノ人員ハ

奇數ニ限ル若シ缺席ノ爲偶數トナリタルト

キハ官等最モ低キ評定官ヲ議決ヨリ除ク官

等同シキトキハ任官ノ順序ニ依リ其後ナル

者ヲ除ク

一 議決ハ過半數ニ依ル

一 長官又ハ評定官ハ左ノ場合ニ於テ評議及議

決ニ加ハルコトヲ得ス

一 裁判スヘキ事件自己又ハ父母兄弟姊妹

若クハ妻子ノ身上ニ關スルトキ

二 裁判スヘキ事件一人ノ資格ヲ以テ意

見ヲ述ヘタルモノ又ハ理事者代理者若

クハ職務外ノ地位ニ於テ取扱ヒタルモ

ノニ關スルトキ

三 裁判スヘキ事件行政官タルノ資格ヲ以

テ其事件ノ處分又ハ裁決ニ參與シタル

モノニ關スルトキ

一 前條ノ場合ニ於テ原告又ハ被告ハ原因ヲ疏

明シテ文書又ハ口頭ヲ以テ長官又ハ評定官

ヲ思達スルコトヲ得

一 前項ノ場合ニ於テ行政裁判所ハ本人ヲ回避

セシメ之ヲ議決ス

一 思達若クハ除斥ノ原因タル事情ニ付キ長官

又ハ評定官ヨリ申出アルトキ又ハ他ノ事由

ヨリシテ長官又ハ評定官カ法律ニ依リ評議

及決議ニ加ハルヲ得サルノ疑アルトキハ行

政裁判所ハ本人ヲ回避セシメ之ヲ議決ス

一 行政裁判所ノ職務規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定

ム

一 行政訴訟ノ辯護人タルコトヲ得ルハ行政裁

判所ノ認許シタル辯護士ニ限ル

一 行政裁判所ノ權限

一 行政裁判所ハ法律勅令ニ依リ行政裁判所ニ

出訴ヲ許シタル事件ヲ審判ス

一 行政裁判所ハ損害賠償ノ訴訟ヲ受理セズ

一 行政訴訟ハ法律勅令ニ特別ノ規程アルモノ

ヲ除ク外地方上級行政廳ニ訴願シ其裁決ヲ

經タル後ニ非サレハ之ヲ提起スルコトヲ

得ス

一 各省大臣ノ處分又ハ内閣直轄官廳又ハ地方

上級行政廳ノ處分ニ對シテハ直ニ行政訴訟

ヲ提起スルコトヲ得

一 各省又ハ内閣ニ訴願ヲ爲シタルトキハ行政

訴訟ヲ提起スルコトヲ得ス

一 行政裁判所ノ判決ハ其事件ニ付キ關係ノ行

政廳ヲ羈束ス

一 行政裁判所ノ裁判ニ對シテハ再審ヲ求ムル

コトヲ得ス

一 行政裁判所ハ其權限ニ關シテハ自ら之ヲ決

定ス



行政裁判所

行政裁判所ト通常裁判所又ハ特別裁判所トノ間ニ起ル權限ノ爭議ハ權限裁判所ニ於テ之ヲ裁判ス(第二十條第二項)

行政裁判法第八條第二項ニ依ル組織及事務分配ノ件

- 一 行政裁判所ニ第一第二ノ二部ヲ置ク
一 行政裁判所ニ部長三人ヲ置ク
部長二人ハ勅任評定官中ヨリ之ヲ命ス
部長一人ハ一ノ部ニ長タルヘシ
長官ハ毎年部長並評定官ノ部屬ヲ定ム
一 長官ハ各部ニ屬スヘキ事務ヲ分配ヲ定ム
部長ハ部内ノ事務ヲ監督シ其ノ分配ヲ定ム

行政裁判所處務規程

行政裁判所部長故障アルトキハ其部ノ評定官行政裁判法第七條第二項ノ順序ニ從ヒ之ヲ代理ス
行政裁判所評定官故障アルトキノ代理順序ハ行政裁判所長官之ヲ定ム
一部長ハ一事件毎ニ審判準備ノ爲メ其部ノ評定官中ノ一名若ハ二名ニ專理員ヲ指命スルコトヲ得

專理員ハ合議ノ際先ツ事實、證據及爭點ニ付說明ヲ爲スヘシ
一 判決ハ審問終結シタル日期日又ハ其期日ヨリ十四日以内ニ之ヲ言渡スヘシ
一 毎年七月十一日ヨリ九月十日マテノ間ハ行政裁判所ニ於テ緊急ノ事項ト認ムルモノ、外既ニ著手シタル訴訟ヲ中止シ並ニ新ナル訴訟ニ著手セズ
一 行政裁判所ノ總會議ハ評定官總員三分ノ二以上列席スルニ非サレハ議決ヲ爲スコトヲ得ス
一 總會議ノ議事ハ長官之ヲ整理ス若シ長官故障アルトキハ評定官中官等最モ高キ者之ヲ代理ス
一 法規ノ解釋ニ付判例ヲ變更セムトスルトキ又ハ法規ノ解釋ヲ一定スルノ必要アルトキハ長官ハ之ヲ總會議ノ議ニ付ス
一 行政裁判所ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ其職權ニ屬スル事件ニ付告示ヲ發スルコトヲ得
一 行政裁判所長官ハ法律命令ノ範圍内ニ於テ事務取扱ノ順序方法ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得
書記ノ職務ニ關スル規程ハ行政裁判所之ヲ定ム

行政裁判所書記ハ往復會計記錄其他庶務ニ從事ス
一 行政裁判所書記ハ行政裁判所長官ノ命令ニ從フ
審判ニ關シテハ裁判長ノ命令ニ從フ
行政裁判所長官待遇(明治三十一年七月)
行政裁判所長官ハ親任官ノ待遇ヲ賜フ
行政裁判所臨時職員増置(明治四十三年三月)
一 行政裁判所ニ臨時左ノ職員ヲ増置ス
評定官 二人
書記 三人
長官(一) 正三、勳三、法學博士 山脇 玄
評定官(一) 文官普通試驗委員 長官 渡邊 廉吉
(二) 貴族院書記官長 太田峰三郎
(三) 文官普通試驗委員 松浦 良春
(四) 文官普通試驗委員 樋山 資之

行政裁判所

- 文官普通試驗委員正四、勳三 由布武三郎
一等一級 牛市ヶ谷沙正原三六
二等一級 從四、勳四 木下友三郎
二等二級 赤青山北四、一〇六
三等一級 正五、勳四 戶田恆太郎
三等二級 從五、勳四 中野三郎
四等一級 內務省神戶局長 井上友一
四等二級 正五、勳四 田中 國三郎
四等三級 樞密院書記官 柴田 駒三郎
四等四級 正五、勳四 赤星 典太
四等五級 法制局參事官 中川 友次郎
四等六級 從五、勳五 松本 郁朝
四等七級 從五、勳四 菅谷 正樹
四等八級 正六、勳五 猿渡 駒之助
四等九級 從五、法學博士 清水 澄
四等十級 正六、勳六 阪本 三郎
四等十一級 正六、勳六 關口 健一郎
四等十二級 正六、勳六 三宅 德業
五等(兼) 法制局參事官 馬場 鐵一

- 書記
文官普通試驗書記文官 館野卯三郎
普通試驗委員書記官 羽仁 謙吉
報告主任正七、勳七 金子 健八
書記官報告主任 山名 恭三
齊藤 見吉
大塚 玉次郎
立川 正敏
正田 退藏
勳七 川村 三郎
仲宗根 玄愷
中村 德芳
豐

文官普通試驗委員 長官 渡邊 廉吉
(二) 貴族院書記官長 太田峰三郎
(三) 文官普通試驗委員 松浦 良春
(四) 文官普通試驗委員 樋山 資之



### 警視廳

麹町區八重洲  
町二丁目

警視廳官制 明治三十九年四月(抄)

- 一 警視廳ニ左ノ職員ヲ置ク
- 警視總監
- 警視
- 警察醫長
- 技師
- 警部
- 警視屬
- 技手
- 消防士
- 警察醫
- 消防機關士
- 通譯
- 警部補
- 一 警視總監ハ勅任トス
- 一 警視ハ二十六人警察醫長ハ一人奏任トス
- 一 警部、警視屬、消防士、警察醫、消防機關士、通譯及警部補ハ判任トス
- 一 警部、警視屬、消防士、警察醫及消防機關士ノ定員ハ通シテ二百二十四人トシ其ノ各官及警部補定員ハ内務大臣ノ認可ヲ經テ警視總監之ヲ定ム
- 一 技師、技手及通譯ハ俸給豫算定額内ニ於テ之ヲ置クコトヲ得
- 一 警視總監ハ内務大臣ノ指揮監督ヲ承ケ東京府下ノ警察消防及特ニ内務大臣ノ指定スル衛生事務ヲ管理シ各省ノ主務ニ關スル警察事務ニ付テハ各省大臣ノ指揮監督ヲ承ク
- 一 警視總監ハ部内ノ行政事務ニ付其ノ職權又

警視廳

ハ特別ノ委任ニ依リ管内一般又ハ其ノ一部ニ廳令ヲ發スルコトヲ得

一 警視總監ハ其ノ主務ニ付テハ東京府下ノ郡長、島司、市長、區長及町村長ヲ指揮監督ス

一 警視總監ハ所部ノ官吏ヲ指揮監督シ委任官ノ功過ハ内務大臣ニ具狀シ判任官以下ノ進退ハ之ヲ專行ス

一 警視總監ハ廳中職務ノ細則ヲ設クルコトヲ得

一 警視總監事故アルトキハ上席警視其ノ職務ヲ代理ス

一 警視總監ハ其ノ廳ノ官吏ヲシテ其ノ事務ノ一部ヲ臨時代理セシムルコトヲ得

一 警視總監ハ其ノ職權ニ屬スル事務ノ一部ヲ警察署長、警察分署長又ハ島司ニ委任スルコトヲ得

一 警視總監ハ警察署長、警察分署長又ハ島司ノ處分又ハ命令ニシテ成規ニ違ヒ公益ヲ害シ又ハ權限ヲ犯スモノアリト認ムルトキハ其ノ處分又ハ命令ヲ取消シ又ハ停止スルコトヲ得

警視總監 正員、勳三、龜井英三郎

### 警視總監官房

- 警視總監官制 明治三十九年四月(抄)
- 一 警視總監ニ總監官房ヲ置キ左ノ事務ヲ掌ラシム
- 一 官吏ノ進退及身分ニ關スル事項
  - 二 文書ノ往復及記録編纂ニ關スル事項
  - 三 官印、印ノ管守ニ關スル事項

四、各部所成案ノ審査及制規ニ關スル事項

五、高等警察ニ關スル事項

六、會計ニ關スル事項

七、他ノ主務ニ屬セサル事項

一 總監官房ニ主事一人ヲ置キ警視ヲ以テ之ニ充ツ

一 主事ハ警視總監ノ命ヲ承ケ官房ノ事務ヲ掌理シ部下ノ官吏ヲ指揮監督ス

一 主事事故アルトキハ警視總監ニ於テ其ノ廳ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシム

一 總監官房ニ分課ヲ設クルコトヲ要スルトキハ警視總監之ヲ定メ内務大臣ニ報告スヘシ

一 警部ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察事務及衛生事務ヲ分掌シ部下ノ警部補及巡查ヲ指揮監督ス

一 警視廳ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス

一 通譯ハ上官ノ指揮ヲ承ケ翻譯通譯ニ從事ス

一 警部補ハ上官ノ指揮ヲ承ケ警察事務及衛生事務ニ從事シ部下ノ巡查ヲ指揮監督ス

警視 高等課長統計主任官

一 警視 報報告主任官 岡田、文次

一 警視 試驗委員長 文官普通 岡田、文次

一 警視 懲戒委員長 從五、野五

技師 從五、勳六、福岡常治郎

警部

一 從七、勳七、松井吉太郎 四、勳八、岩元太次郎

一 從七、勳八、百藏 八、勳九、三谷源七

一 從七、勳八、長谷川守三 八、勳九、力丸

一 從七、勳八、高木鐵熊 八、勳九、高林喜平治

一 從七、勳八、石塚大藏 八、勳九、影山幸七

一 從七、勳八、正八、增永誠郎 十、大島富八

九六一















○下谷警察署谷中分署  
警部(月三三) 下谷區谷中町  
分署長 滿留 金藏  
警部補(月二〇) 藤田琴三郎  
○下谷警察署竹町分署  
分署長 石川 精吉  
警部補(月二五) 福原 芳

○淺草警察署 淺草區象潟町  
警視 五等三級 從大、勳五 新居友三郎  
署長 淺草區二〇官舎

警部  
乙政 浩氣 (月三三) 平田 宗紀  
藤田光之丞 (月三三) 山本 誠  
(兼) 消防士伊藤源三郎  
石川 倉吉 (月三三)

警部補  
田中直之丞 (月一九) 搦崎 鐵藏  
○淺草警察署合羽橋分署  
警部(月四三) 淺草區合羽町  
分署長 岩佐 義一  
警部補(月二〇) 勳八 月次 二郎  
○淺草警察署向柳原町分署  
警部(月四三) 淺草區向柳町三丁目  
分署長 門田喜四郎  
警部補(月二三) 梅井 當助  
○淺草警察署今戸分署  
警部(月四三) 淺草區今戸町  
分署長 勳八 荒川 徳光  
警部補(月一八) 古森 繁高

○淺草警察署日本堤分署  
警部(月三三) 淺草區日本堤町  
分署長 正八、勳八 川畑卯八郎  
警部補(月二三) 勳八、功七 大迫壯太郎  
○淺草警察署南元町分署  
警部(月三三) 淺草區南元町  
分署長 勳八 高橋幸之進  
警部補(月一九) 久住 四郎  
○淺草警察署七軒町分署  
警部(月三三) 淺草區七軒町  
分署長 勳八 山内喜納次  
警部補(月三三) 阿部 力三

○本所警察署 本所區相生町三丁目  
警視 五等四級 從大、勳大 橋爪 慎吾  
署長 本所區相生三二〇官舎

警部  
川上 彦二 (月三三) 勳七 瀧留佐四郎  
(兼) 消防士 巖造 (月三三) 小島 善次

警部補  
和延次郎 (月一八) 鶴田 久十  
○本所警察署原庭町分署  
警部(月四三) 本所區中郷原町  
分署長 小菅 徳松  
警部補(月二二) 鮫島齋之助  
○本所警察署向島分署  
警部(月四三) 本所區向島中郷町  
分署長 蘭部 久五郎  
警部補(月二二) 大塚 新吉

○本所警察署太平町分署  
警部(月四三) 本所區太平町一丁目  
分署長 後藤 威臣  
警部補(月二四) 古恒 伸二  
○本所警察署二葉町分署  
警部(月四三) 本所區北二葉町  
分署長 小出今朝治  
警部補(月二二) 中村 知二

○深川警察署 深川區西平野町  
警視 五等三級 從大、勳五 山下嘉太郎  
署長 深川區西平野町三三官舎

警部  
勳八 林 直 (月三三) 勳七 沖村 宮吉  
(兼) 消防士 村松卯八郎 (月三三) 小袋 久吉  
警部補 杉浦 泰 (月三三) 戸田 長作

○深川警察署洲崎分署  
警部(月四三) 深川區洲崎町  
分署長 正八 沼田 勇魚  
警部補(月二二) 見谷平十郎  
○深川警察署扇橋分署  
警部(月三三) 深川區扇橋町  
分署長 山崎 清助  
警部補(月二二) 勳七 内山 秀行  
○深川警察署永代橋分署  
警部(月三三) 深川區永代町  
分署長 伊津井哲夫  
警部補(月二二) 吉田豊太郎

○東京水上警察署 京橋區明石町  
警視 七等七級 從七 小林 一男  
署長 京新橋九官舎

警部(月三三) 北 一龜  
警部補(月二四) 栗須小太郎  
技手(月三三) 望月金治郎  
○東京水上警察署大井分署  
警部補(月二四) 從原大井町  
分署長 岡本 新造

○品川警察署 荏原區品川町  
警視 五等六級 從大、勳大 岩田 重義  
署長 荏原區品川町三二五官舎

警部  
古江 實雄 (月三三) 旗垣 玉市  
警部補(月二五) 小野 嘉武  
○品川警察署世田ヶ谷分署  
警部(月三三) 荏原區世田ヶ谷村  
分署長 美田喜次郎

○新宿警察署 豊多摩區内藤新宿町大字添地  
警視 七等七級 從七 高橋 守雄  
署長 豊多摩區内藤新宿町三三六官舎

警部  
佐藤 源治 (月二六) 竹内 仁作  
警部補(月二四) 森 末太郎

○新宿警察署澁谷分署 豊多摩區澁谷町五丁目中澁谷  
警部(月四三) 船越平次郎  
分署長 北豐島郡板橋町  
大字下板橋宿

○板橋警察署 北豐島郡板橋町  
警視 七等七級 從七、勳大 法元 盛行  
署長 北豐島郡板橋町二四二官舎

警部  
吉田朱太郎  
警部補(月一七) 中野虎千代  
○板橋警察署王子分署 北豐島郡王子町大字王子  
警部(月四三) 中島 清臣  
分署長

○千住警察署 南足立郡千住町  
警視 五等七級 從大、勳大 新納 謙助  
署長 北豐島郡千住町三九九官舎

警部  
井上 爾樓 (月二七) 河崎 則之  
警部補(月二四) 田上 廉

○小松川警察署 南葛飾郡小松川村  
警部 勳八 市村幸次郎  
署長 南葛飾郡小松川村五三三官舎

警部補(月三三) 秋山 豊  
警部補(月三三) 大貫 秀

○八王子警察署 南多摩郡八王子町大字本町  
警視 大等七級 正七 池端 清武  
署長 南多摩郡八王子町三三三官舎

警部  
岩元 榮助 (月三三) 山田 八二  
警部補(月二二) 小野里源一  
○八王子警察署町田分署 南多摩郡町田村  
警部(月四三) 大字原町田  
分署長 伊藤 祐友

○府中警察署 北多摩郡府中町  
警部 勳八 森田 茂則  
署長 北多摩郡府中町一官舎

警部補(月二二) 鈴木 圭九  
○府中警察署田無分署 北多摩郡田無町  
警部(月三三) 藤川兵五郎  
分署長

○青梅警察署 西多摩郡青梅町  
警部 吉田 文一  
署長 西多摩郡青梅町七三官舎

警部補(月二〇) 矢口 定吉  
○青梅警察署五日市分署 西多摩郡五日市町  
警部(月三三) 丹 親欣  
分署長











○文官高等懲戒委員會

魏町區永田町樞密院事務所内

文官懲戒令

明治三十三年三月(抄)

一 文官高等懲戒委員會ハ委員長一人委員六人ヲ以テ組織ス

一 委員長ハ樞密顧問官ノ中ヨリ委員ハ行政裁判所長官、勅任行政裁判所評定官、勅任判事及其ノ他ノ勅任文官ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ヲ命ス

一 委員會ニ豫備委員六人ヲ置キ前項ノ例ニ依リ之ヲ命ス

一 委員會ハ委員長及委員ヲ併セ五人以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

一 委員會ノ議事ハ多數ニ依リ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ委員長之ヲ決ス

一 委員長事故アルトキハ上席ノ委員之ヲ代理ス

一 委員中事故アルトキ又ハ關員アルトキハ委員長ハ豫備委員ノ中ヨリ代理ヲ命ス

一 委員及豫備委員ノ任期ハ三年トス

一 委員及豫備委員中關員アリテ補闕ノ爲任命セラレタル者ハ前任者ノ殘任期間在任ス

一 委員長及委員ハ左ノ事項ニ該當スルトキハ之ヲ免ス

一 其ノ官職ヲ失ヒタルトキ

二 委員會所在地以外ニ任所ヲ轉シタルトキ

一 委員會ニ幹事一人ヲ置ク

一 幹事ハ高等官ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ヲ命ス

一 幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ委員會ノ議事ヲ準備シ庶務ヲ統理ス

一 委員會ニ書記三人ヲ置ク

一 書記ハ判任官ノ中ヨリ委員長之ヲ命ス

一 書記ハ幹事ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

委員長 樞密顧問官 蜂須賀茂韶

行政裁判所長官 法學博士 山脇 玄

判事 法學博士 田部 芳

大藏次官 若槻禮次郎

法制局長官 安廣伴一郎

內務次官 法學博士 一木喜徳郎

行政裁判所評定官 木下友三郎

豫備委員

農商務次官 押川 則吉

文部次官 岡田 良平

判事 鶴 丈一郎

鐵道院理事 山之内 一太郎

行政裁判所評定官 戸田 恆太郎

農商務省山林局長 上山 滿之進

樞密院書記官 柴田 駒三郎

幹事

東京帝國大學醫科 青山 胤通

大學教授 醫學博士 正五、野山 根 正次

顧問

書記 樞密院屬 小林 榮吉

樞密院屬 野田 松次郎

樞密院屬 伊藤 榮

文官高等懲戒委員會



會計検査官懲戒裁判所

麹町區永田町樞密院事務所内

會計検査官懲戒法明治三十三年三月(抄)法律第二十一號

一懲戒裁判所ニ長官一人裁判官六人豫備裁判官六人ヲ置ク

長官ハ樞密顧問官ノ中ヨリ裁判官ノ中三人ハ大審院判事三人ハ會計検査院長ヲ加ヘ會計検査官ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ニ補ス

豫備裁判官ハ前項ノ例ニ準シ之ニ補ス

一長官裁判官及豫備裁判官ノ任期ハ三年トス但シ補闕ノ爲補職セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トス

一懲戒裁判所ハ長官及裁判官ヲ併セ七人ノ列席會議ヲ以テ裁判ス

一懲戒裁判所ニ於テハ長官ヲ以テ裁判長トシ長官事故アルトキハ上席裁判官ヲ以テ裁判長トス

裁判官事故アルトキハ其ノ同一官廳ヨリ出テタル豫備裁判官ノ中ヨリ長官其ノ代理ヲ命ス

一懲戒裁判所ノ裁判ノ評議ニ關シテハ裁判所構成法ノ規定ヲ準用ス

一懲戒裁判所ニ檢察官一人及豫備檢察官一人ヲ置ク

檢察官及豫備檢察官ハ大審院勅任檢事ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ニ補ス

一懲戒裁判所ニ書記三人ヲ置ク

一懲戒裁判所ハ判任官ノ中ヨリ長官之ヲ命ス

長官 裁判官

樞密顧問官 蜂須賀茂韶

會計検査院長 伊藤 祐敬

會計検査院部長 隈 敬藏

判事 掛下重次郎

判事 香阪駒太郎

判事 常松 英吉

判事 尾古初一郎

判事 遠藤 忠次

判事 中村 修永

判事 三輪 一夫

判事 松室 致

判事 倉松太郎

豫備檢察官

檢察官

豫備檢察官

書記

成瀬 邑雄

野田松次郎

小 榮吉



○行政裁判所長官評定官懲戒裁判所

勸明區永田町樞密院事務所内

行政裁判所長官評定官懲戒令三十三

三年七月勸令第三十三

百五十四號(抄)

一懲戒裁判所ニ裁判長一人裁判官六人豫備裁判官六人ヲ置ク

裁判長ハ文官高等懲戒委員長、裁判官ハ文官高等懲戒委員、豫備裁判官ハ文官高等懲戒豫備委員ヲ以テ之ニ充ツ

一懲戒裁判所ニ檢察官一人ヲ置ク

檢察官ハ勅任檢察ノ中ヨリ内閣總理大臣ノ奏請ニ依リ之ヲ命ス

一懲戒裁判所ニ書記五人ヲ置キ内三人ハ文官高等懲戒委員會書記ヲ以テ之ニ充テ二人ハ大審院書記ノ中ヨリ裁判長之ヲ命ス

裁判長 樞密顧問官 蜂須賀茂韶

裁判官

行政裁判所長官法律博士 山脇 玄

判事法律博士 田部 芳

大藏次官若槻禮次郎

法制局長官安廣伴一郎

内務次官法律博士 木喜徳郎

行政裁判所評定官 木下友三郎

豫備裁判官 農商務次官 押川 則吉

行政裁判所長官評定官懲戒裁判所

檢察官

書記

懲戒所書記 成瀬 邑雄

樞密院書記 小林 榮吉

樞密院書記 野田 松次郎

懲戒所書記 田尻 惟徳

樞密院書記 伊藤 榮

文部次官 岡田 良平

判事 鶴 丈一郎

鐵道院理事 山之内 一

行政裁判所評定官 戸田 恆太郎

農商務省山林局長 上山 滿之進

檢察官 松室 致











